

平成29年度第3回小串警察署協議会会議録

開催日時	平成29年11月30日（木） 15:00から17:00まで	
開催場所	下関市豊浦町大字小串191-1 小串警察署1階 講堂	
出席者	委員	西島英敏、矢田瑞枝、高野多紀子、大石正夫、前田敏道 計5人
	警察署	署長、次長兼警務課長、会計課長、刑事生活安全課長、 地域交通課長、警備課長、会務係員 計7人
議題	1 警察業務の推進状況 2 うそ電話詐欺の認知・検挙状況と関係機関等との協力方策 (協議)	
<p>1 会長挨拶</p> <p>今年も残すところ1か月となったが、協議会委員の皆さん方には、本日は忙しい中、ご出席をいただき誠に有難く思う。</p> <p>最近が高齢者が被害に遭う事件事故が大変目立っている。特に交通事故がかなり立て続けに起きている。県下では11月になって今日までに、高齢者が交通事故で12名亡くなられ、11月20日から11月27日までの8日間では4名の方が交通事故で亡くなられている。それによって、11月28日から12月4日までの7日間、高齢者交通死亡事故多発警報が発令された。</p> <p>さて本日の諮問事項であるうそ電話詐欺についても、高齢者の方が被害に遭われるという状況である。最近は詐欺の手口が大変巧妙になって、新しい手口が次から次に出てくるため、対応できずに被害に遭われる高齢者が減らない状態である。本日の諮問事項の中にもあるように、警察と関係機関との連携が必要になってくるのではないかと思うので、皆さん方の忌憚のないご意見を願います。</p> <p>2 署長挨拶 (省略)</p> <p>3 署長業務説明</p> <p>(1) 警務会計課関係</p> <p>ア 警察安全相談 平成29年10月末の警察安全相談の取扱い状況について説明した。</p> <p>イ 広報活動 平成29年10月末の広報活動推進状況について説明した。</p>		

ウ 遺失物拾得物関係

平成29年10月末の遺失届、拾得届の取扱い状況について説明した。

(2) 地域交通課関係

ア 110番通報への対応状況・トータルリスボンスタイム関係

平成29年10月末の110番通報への対応状況及びトータルリスボンスタイムについて説明した。

イ 交通事故発生状況

平成29年10月末の交通事故発生状況について説明した。

ウ 交通指導取締りの推進

平成29年10月末の交通指導取締りの推進状況について説明した。

(3) 刑事生活安全課関係

平成29年10月末の犯罪情勢と犯罪抑止・検挙活動の推進状況について説明した。

4 協議 ～うそ電話詐欺の認知・検挙状況と関係機関等との協力方策～

うそ電話詐欺の認知・検挙状況及び関係機関等との協力方策について説明した。

5 諮問事項に関する質疑応答

(次長)

刑事生活安全課長の説明の中にもあったように、警察としてもうそ電話詐欺の検挙方策等をいろいろとやっている。昨年もこのうそ電話詐欺の協議の中で皆さん方に御意見を頂いているが、詐欺被害をいかに抑止していくかということが重要である。やはり高齢者の方にもうそ電話について知らせていくことが課題になると思う。委員の皆さん方の御意見を頂きたい。

(委員)

高齢者の方もうそ電話詐欺のことは分かっていると思うが、皆、まさか自分に電話が掛かってきて詐欺に引っ掛かると思っていない。幸い私のいる地区では被害に遭った話は聞いていない。最近では、貴金属を買い取るという電話がよく掛かってくる。この前も私の家に電話が掛かってきたし、近所でもそのような電話が掛かってきた話を聞いた。その近所の方は「そんなものはない」と言って電話をガチャンと切ったら、すぐ折り返しに向こうから電話が掛かってきて、やくざみたいな言葉遣いで「なんかお前は、夜中に家に行くから待ってろ」と言われたが、結局誰も来なかったそうである。この話を聞いて、電話を切るにしても気を付けて切らないといけないと思った。私のところに掛かってきた電話も最初は「古着はないか。なんでも買い取る」と言っていたが、私が「ない」と答えると次に「それならいらぬ指輪はないか」と言ってきた。私が「家にはそんな指輪はない」と言うのであきらめて電話を切った。そういう電話が掛かってきた話は近所でもよく聞く。詐欺も還付金とかいろいろ種類が多いし、手口もいろいろ形を変えてやってくるが、近所では詐欺の被害に遭った話は聞いていない。

(次長)

委員の家の周辺にはATMの機械は有るか。

(委員)

私の家の近所にはATMは無い。以前は漁協の信用部に置いていたが今は無い。それがかえっていいのかもしれない。詐欺被害に遭わないために、うそ電話詐欺が多いことを広報していけば、全部は防げないかもしれないが、ある程度は未然防止になるのではないかと思う。私はボランティアで独居老人の家を訪問するが詐欺の電話が多いので、もしそういう電話が掛かってきたら「私は耳がよく聞こえないから分からない」と言い、とにかく早く電話を切るように言っている。長く話すと相手はいくらでも話すから電話が切れなくなる。

(次長)

そうするのがいいと思う。「今誰かお客が来たから電話を切る」と言って実際は来ていなくてもそのように言って早く電話を切るのが良いと思う。

(委員)

私の職場にも物を買取る電話がよく掛かってくる。「お宅にトラックやリフトはないか。どんな古い物でも買取る」と言って掛けてくる。当然そのような電話は断っている。

(委員)

私の所にも貴金属はないかと電話が掛かってきたことがある。その電話が掛かってくる少し前に、私の家の近くでワゴン車が駐車しており、中に男が何人か乗っていて、大声で「行ってこい」と気合いを入れていたのを見たことがあったので、家の近くまで来て電話を掛けているのだと思う。こちらが電話を切ろうとしてもしつこく話してくるので「今忙しいから」と言ってその時は電話を切った。

(次長)

なかなか切ろうとしない相手に対しては「警察に相談して掛け直す」と言って警察の名前を出して利用してもらっても構わない。

(委員)

私はお年寄りの集まりによく顔を出しているのですが、そのような詐欺の電話が掛かってこないかよく聞いてみるが、みな電話は掛かってこないと言っていた。やはり、このような地区の会合等で、いろいろな電話詐欺が多いことを広報することが大切だと思う。

(次長)

掛かってくる電話には周期みたいなものがあるが、どの電話帳を使うかで変わってくる。電話が掛かって来た時には家の近くまで来ている可能性が高い。角島の方は橋ができてから、いろいろな人が来ているのではないか。

(委員)

やはり橋ができてから、いろいろな人がたくさん来ている。あと橋ができてすぐの頃だったが、漁港で魚を取られることが多かった。今はほとんどなくなったが一時期は多かった。ひどいものになると籠を破って魚を取って行く者もいた。

(委員)

橋ができたての頃が一番多かったと思う。魚の外にアワビやサザエ、船の船外機まで取られていた。

(次長)

警察も角島方面で詐欺関係の話は最近聞いていないが何かあるか。

(委員)

今はお年寄りからもそのような詐欺の話は聞かなくなった。詐欺被害防止の一つの対策として、私の家では、家族に対して他県の電話番号やフリーダイヤルで掛かってきた電話には出ないように言っている。ナンバーディスプレイの電話機を置いている高齢者の方には詐欺の被害に遭わないようにするために有効だと思う。本当に用事があればまた掛かってくるので、その時に電話に出るように言っている。ただお年寄りの中には、りんごを売りに来た人に「青森から来た」と言われ、かわいそうだから買ってあげたという方もいる。

(次長)

お年寄りの方は情に流されるところがあって買ってあげるのものであろうが、青森から来たと言った車は北九州ナンバーだったりする。

(委員)

そのお年寄りの方は、りんごを売りに来る度に毎回買ってあげているので常連になっている。

(委員)

私の所にも青森から来たと言ったりりんごを売りに来たことがある。ワゴン車をどこかに置いて何人かが分かれて各家に売りに行っている。だから一人では来ていない。そのような車は九州ナンバーが多い。

(次長)

ちょっと前にはカニやスイカを売りに来るが多かったが、最近は見なくなった。

(委員)

私は高齢の親と同居しているが、近所のお年寄りとよく井戸端会議をしている。そこでの交流がお互いに役に立っているようである。ご近所には、昼間に独りで過ごす方や同居している家族がおらず1日中独りでいる方がいるが、その時にあるお年寄りの方が話していたが、一人の時に詐欺の電話が掛かってきたら一人暮らしというのを相手に悟られないように「私は耳が悪いからよう聞こえない。夜になったら息子たちが帰ってくるので、また夜に掛け直してくれ」と言って電話を切るそうである。そう言うと電話を切りやすいし二度と電話は掛かってこないそうである。なるほど、そう言って電話を切るのも一つの方法だと思った。

あと私が働いている金融機関で、お客さんが高額の現金を下ろそうとしている時には「何にお使いですか」と必ず聞くようにしている。何に使うか聞くと大抵の方が嫌がるが、その時は事務所に貼っている詐欺被害防止のポスター等を示して「お客様の財産を守るために聞きしている。詐欺の被害に遭わないためにも、差し支えがなければ何に使うか話していただけないか」と声を掛けて聞くようにしている。どこかの銀行がATMの利用制限を10万円にしたと少し前に聞いた気がするがどうか。

(刑事生活安全課長)

山口銀行などでやっている。年齢は70歳以上が対象で、過去にATMの振り込実績がない方、つまり普段ATMを利用して振り込みをしたことがない方に限

って振り込みを10万に制限している。逆に80歳の方で、いつもATMを使って振り込みをしている方には、この制限は掛からない。これは過去何年もATMを使って振り込みをしたことがない方が、いきなりATMを使って振り込むことがおかしいことから、金融機関に振り込め詐欺の防止対策として協力をしてもらっている。

(委員)

ATMの前で何度も何度も通帳を出し入れして、手間取っているような方には声を掛けるようにしている。今はATMで振り込む場合は、画面に「振り込め詐欺ではありませんか」という注意喚起の画面が出るようになっている。少し前までは太陽光発電の関係で、高額のお金を振り込まれる方が多かった。200万円を何回かに分けて振り込んだりしていた。その方は業者の方と一緒に来て振り込みをされていたが、今は偽物の社員証はいくらでも作れるので、職場では疑ってかかるように指示されている。会社名を聞いた後に、電話番号サービスの「104」に掛けて、実際に存在する会社かどうかを確認をするようにしている。社員証は自分でいくらでも作れるので、私の職場では二重三重に確認するようになっている。

(次長)

豊北町の方では詐欺の話は出ていないか。

(委員)

少し前は聞いていたが最近は聞かない。昨日パソコンで、今日のうそ電話詐欺についてインターネットで調べようとパソコンを開いたら「あなたのパソコンは壊れている」というメッセージが突然出てきて驚いた。「あと何秒後までに修復しないとパソコンが壊れてデータがなくなってしまう」というメッセージが突然出たら実際焦ってしまう。パソコンに詳しい人に聞いてやっとなメッセージを消すことができた。時間であと何分何秒と言われると、人は焦ってしまうもので、うそ電話詐欺も子供や孫が困ったらいけないという気持ちが強く働いて「今日の何時までにお金を用意しないと大変なことになる」と言われたら心理的にせかされる感じになって、普段の子供や孫の声と違っていても子供や孫が困ったらいけないという気持ちが強く働いて、どうにかしてやらないといけないという思いになって、詐欺に引っ掛かってしまうのではないかと思う。

(署長)

パソコンにそのような表示が出たら焦る気持ちはよく分かる。まして自分の子供や孫が困ると思うとだまされてしまう。特に「私は詐欺には引っ掛からない」と絶対に大丈夫と思っているお年寄りが一番危ない。そういう方の方が信じきってしまう。私のところにも高齢の親がいるので、詐欺の電話が掛かってきてもだまされないように、家にいても電話は留守番電話にセットさせている。留守番電話にしておく、セールスの電話にもいちいち対応しなくてもすむ。

(委員)

私のところも自分たちが家に居ても留守電にしている。知り合いからの電話だと分かったら電話に出るようにしている。

(署長)

当署で逮捕した者は、特牛のATMを利用した還付金詐欺の手口である。その時には同じ手口の還付金詐欺の電話が豊北町や豊浦町で数件あった。やはり詐欺グループが電話帳で手当たり次第に電話を掛けている。詐欺グループも報酬は歩合制になっている。騙し取った金額の1パーセントとか2パーセントの報酬でも、騙し取った金額が大きいので、自分がもらえる報酬も多くなるので電話を掛ける者も本気で電話を掛ける。あと「名簿屋」というのがいて、学校の卒業者名簿や通販で健康食品等を購入したお年寄りの名簿を買い取る者がいる。その名簿屋にお金に困っている者が、名簿一つが5000円にでもなればと売り渡す。個人情報がお金になる時代である。

(次長)

とにかく個人情報みんな漏れているという前提で、対応していかなければならない。他に皆さん方が住んでおられる地域で、今回の諮問事項以外のことでもよいので何か質問や疑問点とがあれば、せっかくの機会であるので願います。

6 その他の意見等

(次長)

気になることがあれば、いつでも言っていただければと思う。すぐに対応したいと思う。今何かが起きているというのであれば、110番が一番早く対応できるので110番してもらいたい。

(署長)

まだ110番をしたら山口市にある警察本部に電話がつながるという事を知らない方がいる。急ぐ場合は、とにかく110番していただければ、瞬時に現場の位置と住宅地図が出るので、110番が一番早く通報現場に行くことができる。

事故当事者等からすれば、1分1秒がとても長く感じられると思う。とにかく、今は110番・119番が一番早く現場に行くことができるシステムになっている。

(次長)

うそ電話詐欺も昨年から一向に減少していない現状である。併せて先ほど会長からもあったが、高齢者の交通死亡事故が多発し、現在警報期間中である。詐欺も交通死亡事故も高齢者が被害になっている。これを何とか食い止めるために、警察では高齢者宅を戸別に訪問して広報、指導しているが、なかなか成果が出ていない現状であるので、今後も皆様方のお知恵を借りながら対応していきたいと思う。

(署長)

本年最後の第3回小串警察署協議会ということであるが、皆さん住民の方を代表しここで出していただいた御意見というのは、我々警察に対してどのような見方をされているのか、どんな要望があるのかということを身近に受け止めることができる。我々にとっても非常に助かるので、遠慮せずに防犯・交通関係何でも良いので、いろいろな御意見・気付き・要望等を言っていただきたいと思う。来年早々には、第4回目の協議会もあるのでよろしく願います。

7 次回開催予定

平成29年度第4回小串警察署協議会の開催予定は、1月下旬、2月上旬頃とする。

8 配付資料

- 平成29年度第3回協議会資料～(警察署作成)